

CASBEE-広島（2010年ver.1）

(仮称)ウェルディにころ

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分			
配慮項目				環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質										3.2	
Q1 室内環境							0.40			3.1	
1 音環境						2.6	0.15	2.8	1.00	2.8	
1.1 騒音				コンクリート躯体として@200～250に設定している 遮音性に優れた防音タイプのフローリングを採用している 波型中空スラブを採用しL値50に設定		3.0	0.40	3.0	0.40		
1 暗騒音レベル		3.0	1.00			3.0	1.00				
2 防振対策			-				-				
1.2 遮音						3.0	0.40	3.7	0.40		
1 開口部遮音性能		3.0	1.00			3.0	0.30				
2 界壁遮音性能			-			4.0	0.30				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-			4.0	0.20				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-			4.0	0.20				
1.3 吸音						1.0	0.20	1.0	0.20		
2 温熱環境								2.6	0.35		
2.1 室温制御						3.0	0.50	3.0	1.00		
1 室温設定		3.0	0.63			-	-				
2 防振対策			-				-				
3 外皮性能		3.0	0.38			3.0	1.00				
4 ゾーン別制御性			-				-				
5 温度・湿度制御			-				-				
6 個別制御			-				-				
7 時間別全館にわたる配慮			-				-				
8 居住者への配慮			-				-				
2.2 湿度制御								1.0	0.20		
2.3 空調方式						3.0	0.30	-	-		
3 光・視環境						2.5	0.25	3.5	1.00	3.4	
3.1 屋光利用				居室に対して開口の大きいサッシを採用している		2.4	0.30	4.0	0.50		
1 屋光率		2.0	0.60			5.0	0.50				
2 方位別開口			-				0.30				
3 屋光利用設備		3.0	0.40			3.0	0.20				
3.2 グレア対策						2.0	0.30	3.0	0.50		
1 防眩対策			-				-				
2 屋光制御		2.0	1.00			3.0	1.00				
3.3 照度						3.0	0.15	-	-		
1 照度		3.0	1.00			-	-				
2 照度基準			-				-				
3.4 照明制御						3.0	0.25	-	-		
4 空気質環境						3.6	0.25	3.3	1.00	3.3	
4.1 発生源対策				住戸内建築材料はほぼF☆☆☆☆を使用		4.0	0.60	4.0	0.63		
1 化学汚染物質		4.0	1.00			4.0	1.00				
2 放射線対策			-				-				
3 騒音対策			-				-				
4 防振対策			-				-				
4.2 換気						3.0	0.40	2.3	0.38		
1 換気量		3.0	0.50			3.0	0.33				
2 自然換気性能			-			1.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50			3.0	0.33				
4 給気計画			-				-				
4.3 運用管理							-		-		
1 CO ₂ の監視			-		-						
2 喫煙の制御			-		-						
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.1	
1 機能性						2.2	0.40	3.6	1.00	3.4	
1.1 機能性・使いやすさ				住戸内LAN対応配管、光ケーブル対応としている 共用部は美観に努め、住戸内は利便性を高める		1.0	0.60	4.0	0.60		
1 広さ・収納性			-				-				
2 高度情報通信設備対応			-			4.0	1.00				
3 バリアフリー計画		1.0	1.00				-				
1.2 心理性・快適性						4.0	0.40	3.0	0.40		
1 広さ感・景観			-			3.0	0.50				
2 リフレッシュスペース			-				-				
3 内装計画		4.0	1.00			3.0	0.50				
1.3 維持管理							-		-		
1 維持管理に配慮した設計			-				-				
2 維持管理用機能の確保			-		-						
2 耐用性・信頼性						2.8	0.31		-	2.8	
2.1 耐震・免震						3.0	0.48		-		
1 耐震性		3.0	0.80				-				
2 免震・制振性能		3.0	0.20				-				
2.2 部品・部材の耐用年数						2.7	0.33		-		
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23				-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23				-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09				-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08				-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15				-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.23				-				

	2.3 設備の更新				-		-	
	2.4 信頼性			2.8	0.19		-	
	1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
	3	電気設備		3.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法		1.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備	情報設備機能の多様化を図る	4.0	0.20		-	
	3 対応性・更新性			2.8	0.29	3.1	1.00	3.0
	3.1 空間のゆとり				-	3.2	0.50	
	1	階高のゆとり	天井を高くとるため階高を2.91mと設定している		-	4.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ			-	2.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり				-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性			2.8	1.00		-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
	2	給排水管の更新性		2.0	0.17		-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
	6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	3.3
1 生物環境の保全と創出				3.0	0.30		-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				4.0	0.30		-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		計画空間の利便性を配慮している	4.0	0.50		-		
3.2 敷地内温熱環境の向上		緑地公園を設置し環境への配慮	4.0	0.50		-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.4
1 建物の熱負荷抑制				3.0	0.40		-	3.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20		-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50		-		
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50		-		
3 設備システムの高効率化				4.0	0.40		-	4.0
4 効率的運用					-		-	-
4.1 モニタリング				-		-		
4.2 運用管理体制				-		-		
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護				3.4	0.15		-	3.4
1.1 節水		設備機器は節水用、節水機能のものを使用する	4.0	0.40		-		
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60		-		
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00		-		
2	雑排水再利システム導入の有無			-		-		
2 非再生性資源の使用量削減				2.6	0.63		-	2.6
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.07		-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24		-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		杭に高炉セメント使用	4.0	0.20		-		
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20		-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.05		-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み			3.0	0.24		-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.5	0.22		-	3.5
3.1 有害物質を含まない材料の使用		建材については有害物質を含まない材料を選定する	4.0	0.32		-		
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68		-		
1	消火剤	使用目的なし、消火器・移動粉末消火設備のみ	4.0	0.33		-		
2	断熱材		3.0	0.33		-		
3	冷媒		3.0	0.33		-		
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮				3.2	0.33		-	3.2
2 地域環境への配慮				2.9	0.33		-	2.9
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-		
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.6	0.25		-		
1	雨水排水負荷低減		-	-		-		
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33		-		
0	交通負荷抑制		3.0	0.33		-		
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33		-		
3 周辺環境への配慮				2.7	0.33		-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-		
1	騒音		3.0	1.00		-		
2	振動		-	-		-		
3	悪臭		-	-		-		
3.2 風害、日照阻害の抑制			1.6	0.40		-		
1	風害の抑制		1.0	0.70		-		
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-		
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-		
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	照明は計画的に配置する、屋外広告はない	5.0	0.70		-		
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-		